

**平成22年度ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会
議事要旨**

1. 日 時： 平成23年3月29日（火）15：00～17：00
2. 場 所： ホテルアジュール竹芝13階 飛鳥の間
3. 出席委員： 永田委員長、伊規須委員、岡田委員、酒井委員、田中委員、田辺委員、原口委員、細見委員、益永委員、宮田委員、森田委員、若松委員

4. 議題<公開>

(1)平成22年度における各部会の取組状況について

(2)平成22年度における各事業の進捗状況について

<主なご意見>

- ・ヒヤリハットの数え方は各事業所統一すること。
- ・豊田事業所の「サンプリングラインの受器よりの洗浄液漏洩」については、サンプリングボックスの操作は遮蔽フードの外から行えるということは、労働安全上良い対策といえる。
- ・オンラインモニタリングのトラブルは、共通の問題としてよく情報交換をした方がよい。
- ・トラブルという言葉でまとめられているが、レベルが違うものが色々混ざって受け取る側が混乱するので、統一的な基準でお知らせレベル、対処レベル等を整理すること。
- ・事業部会の委員への報告は速やかに行い対応を相談すべきだったにもかかわらず非常に遅れた。事業部会の役割と立場をもう少し検討すること。
- ・本社で、全事業部会共通の問題として、トラブル等の委員への伝達方法を検討すること
- ・事業部会の開催には時間がかかる場合は、まずは委員にメール等で連絡すること。委員によっては専門的なアドバイスもできるはず。
- ・本再生計画は運転員の末端まで浸透するよう図ること。
- ・毎年同じような報告がなされているトラブルは、水平展開を強化し、来年は「主なトラブル」がゼロになるよう努力すること。
- ・事業部会の委員への連絡方法を取りまとめて、事業部会の委員にお知らせすること。
- ・事業所によって差はあるものの、血中PCB濃度は管理目標値(25ng/g)におさまっているといえる。
- ・防護服で防護されているが、脱ぐ際に暴露している可能性があるため、注意喚起は徹底すること。
- ・血中PCB濃度は今のところ十分なゆとりがあるので、あまり心配しなくてよい。
- ・安全安心に関する事項は、本社で統一的に対応し、各事業所から提供される貴重な情報はきちんと整理して事業所へフィードバックするという手順の中で対応すること。

■事務局より連絡事項

- 次回の委員会の日時は、永田委員長に相談して決定。

以 上